

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	上関町社会教育施設 維持運営事業	上関町	5,314,543	4,500,000	
2	地域活性化措置	上関町健康支援事業	上関町	15,994,367	13,500,000	
3	地域活性化措置	上関町へき地診療所 維持運営事業	上関町	14,193,346	8,100,000	
4	地域活性化措置	町営バス運行業務 委託事業	上関町	9,072,000	7,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	地域活性化措置	上関町社会教育施設維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		上関町		
交付金事業実施場所		上関町大字室津		
交付金事業の概要		生涯スポーツの振興のため体育館及びグラウンド等の維持運営費(管理人2名分11ヵ月間の賃金、光熱水費等)		
総事業費	5,314,543	交付金充当額	4,500,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	4,500,000	
交付金事業の成果目標	<p>平成27年度に策定した上関町総合計画では、豊かな創造性を育むひとづくりの一環として、生涯スポーツの振興を図ることとしています。町内には上関町民体育館とグラウンド、テニスコート等の社会教育施設があり、これまで町民の健康増進を目的として、生涯スポーツ活動の振興を図ってきました。また、上関町の体育協会加盟の8クラブやその他の団体が毎週使用し、現在でも生涯スポーツの場として活用されています。現在、町の人口は3,000人を切り、年々減少するとともに少子高齢化が進み、スポーツの活動人口が減少しています。また、町民のライフスタイルの変化により、社会におけるスポーツの果たす役割も変わってきています。そのような状況を踏まえ、子どもから高齢者まで、健康維持と体力保持に主眼を置いた手軽なスポーツや少人数でもできるスポーツの普及と実践が課題となっています。</p> <p>競技スポーツの振興や健康づくりといった従来の目的だけではなく、町民体育館等の社会教育施設の活用により、スポーツを媒体とした絆づくり、地域コミュニティの連携強化、そして元気あふれるまちづくりに繋げていくこととします。</p>			
交付金事業の成果指標	<p>上記、成果目標を達成するためには、スポーツ大会や各種イベントを開催して町民の健康増進、生涯スポーツ活動等の振興を図ります。そのため体育館及びグラウンド等の施設維持と利用を促進することで、年間利用者、体育館4,000人、グラウンド2,700人以上を目標とします。</p>			
交付金事業の成果及び評価	<p>ソフトバレー大会やボクシング教室、卓球大会等を開催することにより体育館4,095人、グラウンド3,774人の利用者となり目標を上回りました。来年度も継続して事業を実施することとしており、一般利用者が体育館等の利用予約状況を簡単に確認できるようにするなどの工夫を行って利用の促進を図るとともに体育館及びグラウンド等の施設維持運営を行います。</p> <p>また、当該事業が国の電源立地地域対策交付金を財源として実施している旨を町発行の広報誌及びHPを利用して町民に周知することで、引き続き、電源地域の理解促進を図っていきます。</p>			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	施設維持管理	公募	住民	905,360
	施設維持管理	公募	住民	388,740
	電気代	随意契約	中国電力株式会社	3,343,908
	水道代	随意契約	上関町	43,790
	夜間照明施設保安管理業務	随意契約	一般財団法人中国電気保安協会	142,538
	建物災害共済掛金	随意契約	一般財団法人全国自治協会	38,867
	浄化槽維持管理委託料	随意契約	有限会社ひらお	437,140
	浄化槽検査料	随意契約	一般社団法人山口県浄化槽協会	14,200
		計		5,314,543
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無無		交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		H33

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
2	地域活性化措置	上関町健康支援事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		上関町		
交付金事業実施場所		上関町一円		
交付金事業の概要		住民の健康診断・検診・予防接種・健康づくりなどの予防事業、子育て支援等の母子保健事業などに従事している保健師3名12ヵ月分の人件費		
総事業費	15,994,367	交付金充当額	13,500,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	13,500,000	
交付金事業の成果目標	<p>上関町の人口統計では高齢化率がすでに50%を超え、へき地においては70%を超えるという深刻なものとなっています。町では平成23年度に上関町健康増進計画を策定し、「元気でいきいき暮らせる生涯現役の町」を行動目標としており、保健師が主体となって町民の健康を支援する行政サービスを行っています。</p> <p>現在、町内では毎年特定健診を行っており、5月末から6月上旬の5日間に集団検診を実施することに加え、1月から6月までの間、各医療機関でも受診できます。上関町は、がんや循環器疾患で亡くなる傾向が多く、若い時から良い生活習慣が身につけていないため病気の発症や悪化に繋がっていると思われます。また、認知症の方も増えていることから、積極的な健診が求められています。町内の特定健診受診者数が少ないことが課題となっています。その対策として、健康を増進させ、発病を予防する「一次予防」に重点を置く対策、いわゆる健康寿命の長期化に取り組み、町民の健康を維持していきます。</p>			
交付金事業の成果指標	<p>上記、成果目標を達成するためには、健康寿命が延びて安心して日常生活を送ることができる人を増やすことを目的に健康教室や各種検診を行って、特定健診受診者率を30%以上を目標とします。</p>			
交付金事業の成果及び評価	<p>上関町民の健康づくりと安心できる生活を確保するために健康教室や各種検診を行い、特定検診の受診を促しましたが、特定検診受診率は19%に留まってしまいました。住民の健康への動機付けを十分に促すことができなかったためと思われることから、次年度においては特定の年齢の人の受診料の無料化や、健診の未受診者に対して勧奨文を送付するなど、受診を促すよう工夫していき、健康への動機付けを進めて健康への意識を高めていきます。</p> <p>また、当該事業が国の電源立地地域対策交付金を財源として実施している旨を町発行の広報誌及びHPを利用して町民に周知することで、引き続き、電源地域の理解促進を図っていきます。</p>			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	保健師の人件費	雇用	—	6,330,768
	保健師の人件費	雇用	—	5,074,919
	保健師の人件費	雇用	—	4,588,680
		計		15,994,367
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H33

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
3	地域活性化措置	上関町へき地診療所維持運営事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		上関町		
交付金事業実施場所		上関町大字長島		
交付金事業の概要		町立へき地診療所に勤務し、へき地地域への医療サービスの提供をしている看護師3名12ヵ月分の人件費		
総事業費	14,193,346	交付金充当額	8,100,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	8,100,000	
交付金事業の成果目標	<p>上関町の人口統計では、高齢化率がすでに50%を超え、へき地においては70%を超えるという深刻なものとなっています。現在、町内には2つの民間医療機関のほかに、離島・へき地の医療を支えるために、町が4地区のへき地で診療所を運営しており、診療所勤務の看護師が、医師の指示を受けた医療行為やカルテの作成、患者の健康相談をしています。</p> <p>通院している人は高齢者が多く、自力もしくは公共交通機関を使って地区外の遠い医療機関までの通院が困難な状況となっています。また、町内には医療機関が少なく、医療体制が整っていないため、初期診療を行うことで病気の早期発見や重症化を予防する相談窓口の整備が必要となっています。</p> <p>町が診療所を各地区へ設置して運営することで地区外に通院が困難な住民にとって、身近な場所で地域医療が受けられ、看護師に相談できる環境を設けることで住民の安心を確保していきます。</p>			
交付金事業の成果指標	上記、成果目標を達成するためには、健康相談のひとつである「高齢者の集いの場」の開催を月1回から週1回に増やし、住民の初期診療の実施、医療に関する相談等を早めに行える環境を整え、年間相談件数6,500件以上を目標とします。			
交付金事業の成果及び評価	住民の初期診療の実施、医療に関する相談等を早めに行える環境を整え、健康相談の場を開きましたが、年間相談件数約5,000件に留まってしまいました。診療所の運営状況により、開設日数が減ったためと思われることから、次年度においては、各診療所におけるデイサービスや、介護予防を目的とした体操等のレクリエーションの実施を検討していき、多くの利用者に気軽に集うことのできる環境の整備を進めていくこととします。また、当該事業が国の電源立地地域対策交付金を財源として実施している旨を町発行の広報誌及びHPを利用して町民に周知することで、引き続き、電源地域の理解促進を図っていきます。			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	看護師の人件費	雇用	—	2,482,880
	看護師の人件費	雇用	—	6,019,824
	看護師の人件費	雇用	—	5,690,642
		計		14,193,346
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H33

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
4	地域活性化措置	町営バス運行業務委託事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		上関町		
交付金事業実施場所		上関町一円		
交付金事業の概要		住民の日常生活における交通の利便性を高めるための町営バス2路線の運行業務11か月分の委託料		
総事業費	9,072,000	交付金充当額	7,000,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	7,000,000	
交付金事業の成果目標		<p>現在、上関町では町営バス2路線の運行業務を行っており、地域住民にとっては必要不可欠な交通手段となっています。</p> <p>町内の公共交通機関は、民間バスの運行があるものの便数も限られており、離島以外の地区でも交通の便の悪い地域が多く存在しています。特に、町内中心部から離れた地域には民間バスも運行しておらず、自家用車が唯一の移動手段となっているものの、高齢者の中には自ら自動車を運転することが難しい交通弱者が多いため、町内2路線のバス運行を行うことで、住民の日常生活における交通の利便性を確保していきます。</p>		
交付金事業の成果指標		<p>上記、成果目標を達成するためには、町営バス2路線を既定通り、地域住民の交通の足として継続運行していきます。また、バス路線沿線の地域施設と連携することで利用促進を図り、年間のバス利用者延べ9,800人以上を目標とします。</p>		
交付金事業の成果及び評価		<p>町営バス2路線を既定通り、地域住民の交通の足として継続運行したことで、年間のバスの利用者約9,900人となり目標を上回りました。次年度においても、バス路線沿線の地域施設と連携して更なる利用促進を図っていくこととします。</p> <p>また、当該事業が国の電源立地地域対策交付金を財源として実施している旨を町発行の広報誌及びHPを利用して町民に周知することで、引き続き、電源地域の理解促進を図っていきます。</p>		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
四代～柳井病院線		指名競争入札	有限会社平生タクシー	5,005,800
大津～中の浦線		指名競争入札	有限会社平生タクシー	4,066,200
		計		9,072,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H33

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	イベント事業	上関町	9,058,147	7,000,000	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	地域活性化措置	イベント事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		上関町		
交付金事業実施場所		上関町大字室津		
交付金事業の概要		観光振興・地域活性化を図るため、夏に「上関水軍まつり」を実施する。 本イベントは、室津港湾埋立地をメイン会場に町内各所で行い、観光クルージング、花火大会、ステージイベントなどの催しを行う。		
総事業費		9,058,147	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	7,000,000 0 7,000,000
交付金事業の成果目標		上関町は瀬戸内海に位置し、周防灘と豊後水道がまじわる好立地から自然景観がすばらしく、古来より海上交通の要衝として栄えてきました。しかし近代化に伴う社会情勢の変化から、少子・高齢化に伴う過疎化が深刻で昭和30年代のピーク時に比べ、4分の1程度の人口となっています。 そうした上関町において、観光振興・特産品開発・人材育成事業を軸に地場産業の振興を図ってきましたが、若者の流出や高齢化などにより就労者の生産能力が低下し、地場産業を活性化させるほどの事業効果が上がっていないのが現状です。 本イベントは、従来実施していた「上関みなとまつり」という花火大会を引き継ぐもので、県東部もしくは県内においても知名度の高いイベントとして多くの来客者を迎えていることから、まつりで町の魅力を発信し、観光振興・地域活性化に繋げていきます。		
交付金事業の成果指標		上記、成果目標を達成するため、ホームページやチラシ等で上関町やイベントをPRして多くの観光客や来訪者を図り、来場客数8,000人以上を目標とします。		
交付金事業の成果及び評価		観光協会のホームページに特設ページとして上関水軍まつりの情報を掲載するとともに、チラシを関係各所や近隣の市町の施設・商業施設等に設置・配布してイベントを紹介しました。また、今年度はステージを屋外に設け、会場に一体感を持たせることで魅力あるイベントを開催することができ、10,000人を超える来場客数となった。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
イベント実施の委託		随意契約	上関町観光協会	9,058,147
		計		9,058,147
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無無			交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H33

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	スクールバス購入事業	上関町	12,233,571	12,000,000	
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	上関町立学校施設維持運営基金造成事業	上関町	25,900,000	25,900,000	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	スクールバス購入事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		上関町		
交付金事業実施場所		上関町一円		
交付金事業の概要		学校へ通学する児童生徒の安全確保のためスクールバス3台の更新		
総事業費	12,233,571	交付金充当額	12,000,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	12,000,000	
交付金事業の成果目標	<p>上関町では、学校への通学支援を目的にスクールバスの運行を行っています。走行ルートは室津地区内から学校へ向かうルート、室津志田地区から学校へ向かうルート、四代から学校へ向かうルートの3つがあります。3台のスクールバスが日ごとに入れ替わって運行しており、現在は一日50名程度が利用しています。スクールバスは通学だけではなく、社会見学や体験学習といった校外活動を行う際にも活用されています。また、中学校のクラブ活動にも利用されており、大会への参加や練習試合等への移動手段としても活用されています。</p> <p>このように使用する機会も多く、平成16年度に整備してから今年度で12年目を迎え、近年では故障の回数も多くなり、円滑な通学支援等を行うことが困難になりつつあります。しかし、スクールバスの運行は学校へ通学する児童生徒が事故に巻き込まれる確率を低くするなど安全確保の重要な役割を果たしています。今後も児童生徒の安全確保を行っていき、児童生徒及び保護者の安心安全を確保していくこととします。</p>			
交付金事業の成果指標	<p>上記、成果目標を達成するためには、スクールバスの運行を継続していく必要があります。そのためにはスクールバスを更新し、児童生徒の長距離通学に係る負担軽減を図るとともに、通学途中における生徒の事故に巻き込まれるリスクを回避するなど、引き続き交通事故0件の通学を維持することを目標とします。</p>			
交付金事業の成果及び評価	<p>スクールバス3台を更新し、運行を継続したことで児童生徒の通学時の交通事故件数0件を達成することができました。また、現状や地域に適応したバスの大きさを考慮したことで幅の狭い道路を通行しやすくなり、危険を減らすことができました。</p> <p>また、当該事業が国の電源立地地域対策交付金を財源として実施している旨をスクールバスに標示することで町民の目に触れるとともに町発行の広報誌及びHPを利用して周知することで、電源地域の理解促進を図っていきます。</p>			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
スクールバス3台購入		指名競争入札	上関自動車	12,233,571
計				12,233,571
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無無			交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度該当なし	

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	上関町立学校施設維持運営基金造成事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		上関町		
交付金事業実施場所		上関町大字長島		
交付金事業の概要		上関町立学校施設維持運営基金の追加造成		
総事業費	25,900,000	交付金充当額	25,900,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	25,900,000	
交付金事業の成果目標	<p>上関町では、小・中学校の9年間を一貫した教育として取り組む「小中一貫教育」を推進しており、中学校卒業後の子どもたちの姿をイメージしながら、目指す児童・生徒像「見通しをもって他者と関わり、自らを高めていこうとする子」を共有し、その実現に向けた義務教育を行っています。</p> <p>上関町には小学校と中学校がともに1校ずつあり、それぞれが隣接しています。小学校は平成17年度、中学校は平成26年度に整備され、新しい環境で学校運営が行われています。維持運営基金によって学校施設を運営していくことで、学習に最適な環境を児童生徒に継続的に提供することができます。また、維持運営基金を造成することで安定した財源を確保でき、学校施設の維持運営を円滑に行うことができます。しかし、現在の維持運営基金は処分計画では平成32年度に残額がなくなります。</p> <p>そこでさらなる充実を図るため上記基金の追加造成を行い、学校施設の維持運営を長期的に安定して行ったり、児童生徒に学習の場を安定的に提供したりすることとします。</p>			
交付金事業の成果指標	<p>上記、成果目標を達成するためには、小中学校の安定的な運営と児童生徒の学習機会の継続的な提供を図り、年間開校日数約200日を予定通り行うことを目標とします。</p>			
交付金事業の成果及び評価	<p>小中学校の開校を規定通り行ったことで、年間開校日数を約200日実施することができました。今後も小中一貫教育を推進していき、中学校卒業後の子どもたちの姿をイメージしながら、目指す児童・生徒像の実現に向けた教育を行い、学習環境の維持運営を行っていきます。</p> <p>また、当該事業が国の電源立地地域対策交付金を財源として実施している旨を町発行の広報誌及びHPを利用して町民に周知することで、電源地域の理解促進を図っていきます。</p>			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	基金造成	積立	-	25,900,000
		計		25,900,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H33